

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【公開番号】特開2012-205778(P2012-205778A)

【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-73846(P2011-73846)

【国際特許分類】

D 06 F 33/02 (2006.01)

D 06 F 37/42 (2006.01)

【F I】

D 06 F 33/02 J

D 06 F 37/42 A

D 06 F 33/02 P

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月12日(2012.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筐体と、

前記筐体に収容され、衣類を脱水する脱水槽と、

該脱水槽の振動に関する情報を含む検出信号を出力するセンサ要素と、

前記検出信号に基づき、前記脱水槽を制御する制御装置と、を含み、

前記脱水槽は、前記衣類を脱水するために回転する内槽と、該内槽を収容する外槽と、

を含み、

該外槽は、前記筐体に対向する外面を有する円筒状の周壁を含み、

前記センサ要素は、前記脱水槽の振幅に応じて、姿勢を変えるレバー部を備える機械式スイッチ素子を有する第1センサ素子と、前記外面の加速度を検出する加速度センサを有する第2センサ素子と、を含むことを特徴とする脱水装置。

【請求項2】

前記第1センサ素子は、前記筐体の角隅部に配設され、前記第2センサ素子は前記第1センサ素子に対して、前記筐体の対角線上に配設されたことを特徴とする請求項1に記載の脱水装置。

【請求項3】

前記筐体は、前記脱水槽に沿って立設される第1壁と、該第1壁とは反対側の第2壁と、前記第1壁と前記第2壁との間で立設される第3壁と、該第3壁とは反対側の第4壁と、を含み、

前記第1センサ素子は、前記脱水槽の第1方向である前記第1壁と前記第3壁との間に形成された角隅部に向かう方向の振幅を検出し、

前記第2センサ素子は、前記第2壁と前記第4壁と前記脱水槽とに囲まれる空間に配設されることを特徴とする請求項1に記載の脱水装置。

【請求項4】

前記第2センサ素子は、前記外面に取り付けられることを特徴とする請求項2又は3に記載の脱水装置。

【請求項 5】

前記制御装置は、前記レバー部の姿勢及び前記加速度のうち少なくとも一方に応じて、前記内槽の回転を調整することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の脱水装置。

【請求項 6】

前記内槽を回転させるための駆動源を更に備え、
前記外槽は、前記駆動源が取り付けられる底壁を含み、
前記周壁は、前記底壁が接続される第 1 縁と、該第 1 縁とは反対側の第 2 縁とを含み、
前記加速度センサは、前記第 2 縁の近傍に取り付けられることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の脱水装置。

【請求項 7】

前記脱水槽の下方への変位を抑制する抑制要素を更に備え、
前記抑制要素は、前記内槽の回転中心に対して、前記第 4 壁側に偏心して配設されることを特徴とする請求項 3 に記載の脱水装置。

【請求項 8】

前記抑制要素は、前記衣類を乾燥するための乾燥空気を前記脱水槽に送り込むとともに該脱水槽から前記乾燥空気を回収するように前記脱水槽の周りで前記乾燥空気を循環させる循環システムを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の脱水装置。

【請求項 9】

前記加速度センサは、前記外槽の半径方向の加速度成分及び前記外槽の周方向の加速度成分のうち少なくとも一方を検出することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の脱水装置。

【請求項 10】

前記加速度センサは、前記外槽の半径方向の加速度成分及び前記外槽の周方向の加速度成分に対して直交する方向の加速度成分を検出することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の脱水装置。